

indoor里山の苗木

indoor里山には、静岡県熱海の森林再生活動の中で芽生えた苗木や神奈川県平塚の福祉作業所で大切に育てられた苗木を活用した、地域性在来種によるグリーンという特徴があります。

今、日本の植物の25%が開発や里山の手入れ不足等の事情により、絶滅の危機に晒されています。indoor里山は、荒廃林で休眠したまま忘れ去られている“日本古来の在来植物”を都市で守り育てる仕組みです。多様性豊かなグリーンがシティラボの憩いとなり、そして、ここに集まる皆様の持続可能な未来への想いとつながることを願っています。さらに、福祉作業所で大切に育てられた在来種苗木を積極的に採用することで多様な人達の就労にも繋がる、それがindoor里山です。

<indoor里山に植えられている苗木>

神奈川県福祉作業所：アカガシ、アラカシ、スダジイ

静岡県森林再生由来：シロダモ、ヒイラギ、ヒサカキ、アセビ、テイカカツラ



都市の緑が里山を元気に、里山の緑が都市を潤す。

URBAN SEED BANK®

indoor里山に植えられている苗木 -その1-

神奈川県福祉作業所で育った、アカガシ、アラカシ、スダジイ



スダジイ

実が巻貝の一種の「シタダミ」に似ていることから、シタダミシイ→スダジイとなったとの説。一方でシイタケの原木をスダギと呼ぶことが有り、シイタケ原木に使う木の意でスダジイとなったとの説もある。中野区、目黒区では自治体の木にシイを指定している。



アラカシ

アラカシの名は、あくまでも同じように身近な存在であった後述のシラカシに対比して僅かに粗野であるという命名のようです。「カシ」は材が堅いことから「堅（かたし）」から転訛したと言う説があります。



アカガシ

材が赤いことから「アカガシ」。世田谷区の桜小学校にあるオオアカガシ（変種）は巨木として東京都の天然記念物に指定されている。

indoor里山に植えられている苗木 -その2-

静岡県熱海の森林再生で芽生えた、シロダモ、ヒイラギ、ヒサカキ



シロダモ

葉の裏が灰白色なので「白」で、江戸時代の別名に「シロタブ」があり、そこから「シロダモ」に転訛したものとされている。昔は果実の油を灯油やローソクとして利用していた。

ヒイラギ

葉のとげを触るとヒリヒリ痛むことから「ヒリヒリ痛む」の古語【ひひらく】に由来といわれている。別名を「鬼の眼突き」とも。



ヒサカキ

昔から神事などに利用されている。榊でないから非榊であるとか、一回り小さいので姫榊がなまった、また緋色の新芽が出ることからなど、名前の由来に多くの説がある。



indoor里山に植えられている苗木 -その3-
静岡県熱海の森林再生で芽生えた、アセビ、テイカカヅラ



アセビ

「馬酔木」と書き、その名は「馬」が葉を食べれば毒に当たり、「酔」うが如くにふらつくようになる「木」という所から付いた名前であるとされる。



テイカカヅラ

テイカカヅラの名は、成就しなかった恋の執心で蔦葛となり、恋人である式子内親王の墓に絡みついたという伝説を脚色した謡曲「定家」に由来。

丸太の器



この丸太の器は、神奈川県足柄の山から切り出した60～65年の杉からできています。

直径40cmのこの丸太、人力で扱うのは一苦勞ですが、木工のプロの手にかかると見る見るうちに苗木の入る穴が彫られていきます。しかし、実はこの太さの木をくり抜く加工は、大きな旋盤を使う特殊な技術で、これができる木工所や技術者は高齢化が進み全国でも数が少なくなってきている希少な技術です。今回は熟練の技をお持ちの職人さんに加工していただきましたが、工場製品のように全く同じものを大量生産できるものでもありません。

是非、触って、かいて、一つ一つ異なる丸太の風合いを感じてみてください。

今回の丸太の器は、設計デザインをヴォンエルフさん（東京都千代田区）、制作をワイスワイスさん（東京都渋谷区）に協力していただきました。



都市の緑が里山を元気に、里山の緑が都市を潤す。

URBAN SEED BANK®

indoor里山のコンセプト

オフィスワーカーの生産性向上と、心身の健康への配慮は喫緊の課題であり、様々な調査データの裏付けにより、オフィス空間の質が労働の質を左右するといわれ始めています。そのような中、オフィスにおける「バイオフィリックデザイン」への期待が高まっています。人の健康やウェルビーイングと執務空間との関係を規定する第三者評価制度であるWELL Building Standard (WELL) でも、心の健康を向上させるためのバイオフィリックデザインが評価に含まれています。

indoor里山は、室内のバイオフィリックデザインに、我々日本人が古くから慣れ親しんだ日本の里山に自生するトレサビリティが確保された苗と、国産材による器を取り入れるものです。さらに、オフィスワーカーと里山保全活動を繋げることで、環境保全と健康の向上に寄与します。WELLでは、寛大な行動やボランティア活動が、健康とウェルネスに好影響をもたらすと結論付けており、「こころ」の評価のカテゴリーの加点項目96「利他的行為」では、ボランティア活動への参加や慈善団体への寄付を評価しています。

さらに、このindoor里山は、室内のバイオフィリアと、里山保全活動を合わせてご提案することで、SDGsへの取り組みも応援します。

詳しい資料をご覧になりたい方は、

TEL03-3296-8655 アーバンシードバンク事務局までお問合せください。



都市の緑が里山を元気に、里山の緑が都市を潤す。

URBAN SEED BANK®